



障害のある人が演奏し 共に楽しむ



バリアフリー楽器 サイミス Cymis

- ・心のやすらぎ
- ・活動と参加(QOLの向上)
- ・周りの皆さんとコミュニケーション
- ・機能回復, 脳の活性化と可塑性
(ニューロリハビリテーション)

障害ある人が容易に、そして本格的な曲目の演奏(独奏, 合奏)を楽しみ、その結果として、共に学ぶことができ、さらに生理的機能の向上や明るい笑顔(リラクゼーション、心のやすらぎ)が得られ、QOL(生活の質)の向上、日中活動の充実に貢献できる楽器となることを目指している(世界初のバリアフリー楽器)

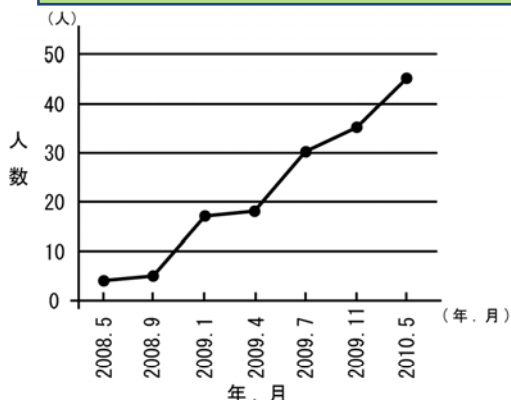
成果1: 皆がたのしむ(希望の家(宝塚)の例)

年2回開催: 音楽会(約200名参加)
毎月: お誕生日会(グリーンホーム) 競って演奏



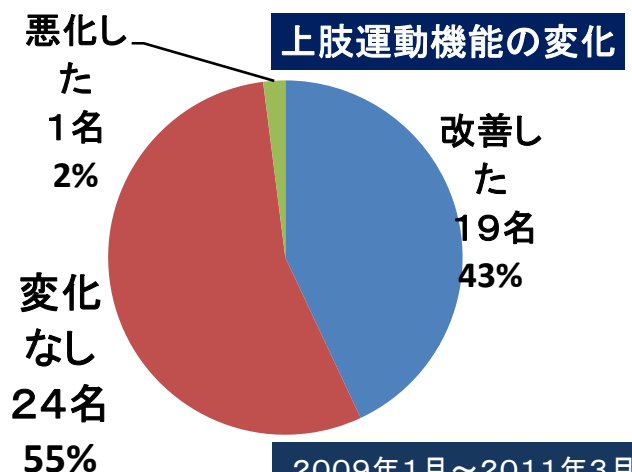
演奏希望者

グリーンホームのサイミス演奏希望者
:2011年5月では希望者38名(約70%)
【障害程度区分6:39名/54名(平均55歳)】



成果2: 運動機能の顕著な向上

脳性麻痺により長年、ほとんど動かなかった左手中指が、サイミスを演奏することによって、約半年後に動き始めました。



2009年1月~2011年3月
44名の集計

国立特別支援教育総合研究所, 社会福祉法人希望の家(宝塚市), 愛徳医療福祉センター(和歌山市), 和歌山県福祉事業団牟婁あゆみ園, 大阪府福祉事業団金剛コロニー, NPO吹田市音楽療法推進協議会, 姫路市立総合福祉通園センター, 東京都北療育医療センターなどに導入し, 共同実験・研究を実施中です。

本発表における写真掲載等の同意をいただいています